



北の大地でも産業電化で GXを進めていく

奥山 善樹 北海道電力株式会社 販売推進部 部長

最近では北海道に半導体産業が誘致されるだけでなく、冷涼気候を活用できるデータセンターの立地計画が相次いでおり、電力需要の拡大で注目を集めています。一方、道内には金属加工業や食料品製造業といった業種のお客さまも立地頂いていることから、当社もカーボンニュートラルに関するお客さまニーズに寄与する需要家サイドでの電化に対する取り組みも、一層強化する必要があると考えています。

こと、寒冷地・北海道における電化優位性をまとめてみます。

エネルギー効率の向上：電化は、エネルギーをより効率的に利用することを可能にします。金属加工業では、高温の熱が必要な工程が多く、電気炉などの電化設備は、燃料を直接燃やす方法に比べて、エネルギーの変換効率が高いです。広大な敷地を確保しやすい北海道では太陽光発電をオンサイトで活用することで電力の脱炭素化にダイレクトにアプローチすることが可能です。食料品製造業においても、冷凍・冷蔵設備やクリーンルームなどの冷熱需要に対し高COPを稼げることや、外気冷房の活用などエネルギー消費の削減に寄与します。

再生可能エネルギーの活用：電化は、再生可能エネルギー源への移行を容易にします。北海道は風力や水力だけでなく地熱も含めて豊富な再生可能エネルギー資源を有しており、これらを活用することで、環境保護、エネルギーセキュリティの向上と地域経済の発展に寄与します。

技術革新の推進：電化は、新しい技術の導入を促進します。金属加工業における精密な温度管理や、食料品製造業における衛生管理など、高度な技術が求められる分野での革新が期待されます。

地域社会への貢献：電化は、地域社会への貢献としても重要です。電化による省エネルギー化は、地域全体のエネルギー消費を抑え、持続可能な社会の構築に貢献します。また、電化による作業環境の改善は、従業員の安全と健康を守ることにもつながります。われわれは、電化の利点の一つとして「電化厨房」がもたらすベネフィットに注目しており、本店社屋に電化厨房を気軽に体験できる施設「エレナード・ザ・キッチン」をオープンさせており、道内各地から訪れ、試していただき、その良さをご理解いただいております。

これら電化の利点をお客さまに伝え、お客さまの発展と脱炭素に貢献してこそ私たちがあるとの思いから、北海道電力が電化に取り組むことは、エネルギー効率の向上、再生可能エネルギーの活用による環境保護、エネルギーセキュリティ向上、技術革新の推進、地域社会への貢献という多面的な意義を持ち、北海道の持続可能な発展に寄与する重要な取り組みであると言えます。このような取り組みは、北海道の豊かな自然環境を守りながら、経済的な発展を図るためにも不可欠です。北海道電力は、GX（グリーントランスフォーメーション）実現に向けて、さまざまな支援策を提供しています。

（おくやま よしき）一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター 理事